

「エコプロダクツ大賞」 ロゴマーク使用規定

エコプロダクツ大賞推進協議会

(目 的)

第1条 この規定は、エコプロダクツ大賞推進協議会（以下、「協議会」という）が主催する「エコプロダクツ大賞」において表彰されたプロダクツ又はサービスの供給者が、そのプロダクツ又はサービスの広報や宣伝等を目的にロゴマークを使用する際の留意事項等について定める。

(ロゴマークを使用できる者等)

第2条 ロゴマークを使用できる者は、「エコプロダクツ大賞」において、表彰を受けたプロダクツ又はサービスの供給者及び供給者が二次使用を認めた者に限られる。

2 ロゴマークが使用できるのは、表彰を受けたプロダクツ又はサービスに関する広報や宣伝等に利用する場合に限られる。
表彰を受けたエコサービスによって生産された製品にロゴマークを使うことは原則として認めない。(注)

3 ロゴマークの使用開始は、表彰に該当した年のエコプロダクツ大賞の結果発表以降とする。なお、表彰に該当した年以降もロゴマークの使用を認めるものとする。

(使用ロゴマーク等)

第3条 協議会が使用を認めるロゴマークは次の通りとする。



(上記のロゴマークは、第8回表彰用を例示したものである)

2 前項のロゴマークを使用する際には、次の各号の条件を満たすものとする。

(1) 大きさについては、ロゴマークを内包する長方形の天地部分の長さが原則1.5センチメートル以上とする。

(2) 色彩については、緑(DIC フランス伝統色 1版 F219) またはスミとする。

(3) ロゴマークの周囲に、表彰に該当したエコプロダクツ大賞の開催回、表彰部門、賞の種類を必ず明記する。

記載例示 1 (2011 年度に実施された第 8 回において、エコプロダクツ部門の大賞を受賞した場合は下記の記述となる)

第 8 回エコプロダクツ大賞エコプロダクツ部門〇〇大臣賞受賞

記載例示 2 (2011 年度に実施された第 7 回において、エコプロダクツ部門の優秀賞を受賞した場合は下記の記述となる)

第 8 回エコプロダクツ大賞エコプロダクツ部門エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞受賞

記載例示 3 (2011 年度に実施された第 7 回において、エコプロダクツ部門の奨励賞を受賞した場合は下記の記述となる)

第 8 回エコプロダクツ大賞エコプロダクツ部門エコプロダクツ大賞審査委員長特別賞受賞

(ロゴマーク使用に関する報告)

第 4 条 ロゴマークの使用を希望する場合は、エコプロダクツ大賞推進協議会に対し、あらかじめ使用方法を報告することとする。

(使用違反に対する対応)

第 5 条 ロゴマークを故意に改ざんしたり、使用条件に違背してロゴマークを使用した場合、あるいは利用できる者以外の者がロゴマークを使用した場合等には、協議会はただちにその使用停止を求めるとともに、必要に応じて法的措置をとることがある。

(実施細則)

第 6 条 この規定の実施に関し必要な事項は、別途細則として定めることができる。

(注) ロゴマークの使用については、審査委員会及び協議会の運営委員会(協議会の会員団体で構成)において、不当景品類及び不当表示防止法(景品表示法)、農林物資の規格化及び品質表示の適正化に関する法律(JAS法)、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(グリーン購入法)等の規定などを参考にして総合判断しています。過去において、表彰されたサービスによって生産された製品にロゴマークの使用が認められた事例は以下のようなものがありますが、いずれも審査委員会においてサービスとプロダクツが一体となったエコサービスと認められたものです。

①菜の花プロジェクト(第 1 回大賞エコサービス部門大賞受賞)とこのプロジェクトによってつくられた廃食油石けんとバイオディーゼル燃料

②茶殻リサイクルシステム(第 2 回大賞エコサービス部門大賞受賞)とこのシステムによってつくられた各種のリサイクル製品

③食品リサイクルパッケージシステム(第 3 回大賞エコサービス部門大賞受賞)とこのシステムによってつくられた有機堆肥と消臭剤

(附 則)

この規定は、2004 年 12 月 1 日から適用する。

(附則)

- ・ 2005 年 11 月 15 日 一部改定
- ・ 2006 年 11 月 17 日 一部改定
- ・ 2007 年 11 月 15 日 一部改定
- ・ 2008 年 11 月 12 日 一部改定
- ・ 2009 年 5 月 20 日 一部改定